

広げよう 子どもの未来

特集

人気の学びスポット紹介

子どもの健やかな成長は、親にとつて何ものにも代えがたい喜びです。将来の夢に向かって歩んでいくのは子ども自身ですが、年齢に応じて将来の可能性を広げる知的好奇心を育てあげたいという親心でしょう。今回の特集では、子どもや保護者に人気の学びスポットとともに、佐賀新聞文化センターのお薦めの子どもの教室を紹介します。

「子どもが主役の街」好きな仕事を体験

KidZania Fukuoka キッズニア福岡 (福岡市)

「将来〇〇になりたい」「〇〇に挑戦したい」。子どもたちは、日々の暮らしの中でいろいろな人と触れ合い、さまざまな刺激を受けながら将来の夢を育んでいきます。大人のように好きな仕事にチャレンジしてみたいという子どもたちにお薦めなのは、福岡市の複合商業施設「ららぽーと福岡」にある「キッズニア福岡」です。

3歳から15歳までの子どもたちが職業・社会体験を通して、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができます。「子どもが主役の街」です。施設内にはさまざまなパビリオンが建ち並び、約70種類の仕事やサービスの中から自分で選んで体験することが出来ます。

運営するKCC J GROUPの広報担当者によると、キッズニアはメキシコが発祥の地で、それが世界各地に広がりました。現在日本には、東京、甲子園、福岡の3施設があります。子どもたちが活動する街は、実社会の約3分の2サイズでつくられています。昨年7月末に開業した福岡は、より安全に施設内で過ごせるように「歩車分離」



福岡市の複合商業施設「ららぽーと福岡」にある「キッズニア福岡」。約70種類の仕事やサービスの中から自分で選んで体験できる



宇宙訓練センターでは宇宙空間を体感できる



バスアナウンサーの体験では、お客様にキッズニアの街を紹介



配電テクニカルセンターでは配電エンジニアの仕事が体験できる



久光製薬の医薬研究所では冷却ジェルシート作りが体験できる

キッズニア福岡

【住】福岡市博多区那珂 6-23-1 ららぽーと福岡
 【電】050-3188-5352
 【営】休日 / 1部 9:00~14:30
 2部 15:30~20:00
 平日 / 9:00~17:00



*チケット予約など詳細はこちらから

とても楽しいからなのでしょう。好きな仕事にチャレンジする子どもたちは目を輝かせ、笑顔の中にも真剣そのものです。体験後、保護者の方からは「お手伝いをするという意欲が上がり、周りへの細かな気遣いをするが増えた」「これまで『どうせできない』という考え方をすることが多かったが、『とりあえずやってみる』という考え方に変わってきた」「稼ぐことがいかに大変かを知ったことで、親が頑張って仕事をしていることを理解した」といった声が寄せられているそうです。

「キッズニアでの体験を通して、子どもたちに生きる力を育んでもらいたいと思っています」と広報担当者。空間デザインスタジオ(10月31日オープン)など新たなパビリオンも続々と加わっています。





防災知識を学び、満足げな表情を見せる子どもたち



防災食作りを経験した参加者



毛布と2本の棒を使った担架作りを学ぶ参加者



昨年の防災運動会



「人命救助レース」で佐賀消防署員のチェックを受けながら人形にマッサージをする参加者＝佐賀市の神野小
写真提供：佐賀新聞社



用意された道具を使い応急手当の速さを競う種目で、やけどの処置をする参加者＝佐賀市の神野小
写真提供：佐賀新聞社



毛布と2本の棒でつくった担架で人を運ぶ参加者＝佐賀市の神野小
写真提供：佐賀新聞社

**参加
40家族を
募集**

次 紹介するのは、(一社)佐賀青年会議所(佐賀市)の「さが防災運動会」の取り組みです。地震、台風、水害…。日本は「災害大国」で、私たちが暮らしている佐賀県も、いつ、どんな災害に見舞われるか分かりません。危険が迫った時、どう判断し、どう行動すべきなのか、子どものころから学ぶことに越したことはないでしょう。こうした思いから佐賀青年会議所は昨年、家族みんなの身の安全を守るための防災知識を取り入れた新しい運動会「防災運動会」を始めました。2回目となる今回は11月19日、佐賀市の西九州大学短期大学部佐賀キャンパスで開催します。参加する40家族を募集しています。

楽しく体験しながら防災に関する知識や知恵を身に付けられる内容です。競技種目は、災害発生時を想定した「土嚮づくり」「水バック消火競争」「総合障害物リレー」「防災ウルトラスーパー×クイズ」「防災ジェスチャーゲーム」「チーム対抗ガチンコリレー」の6種目の予定です。スタンプを集めて回る体験ブースでは、家の修繕、重機の操作、フードバンク、災害ボランティアなどについて学びます。

2011年に東日本大震災が発生。甚大な被害を受け、復興への取り組みはいまなお続いています。佐賀県は2019年と21年に大水害に見舞われました。地球温暖化による異常気象は日本だけでなく世界中で広がっており、災害は他人事ではありません。佐賀青年会議所では、県内はもちろん九州隣の被災地支援の取り組みも進めています。

今回の防災運動会の責任者を務める武田星弥さんは「災害の規模はどんどん大きくなってきています。家族の命を守るため、防災の大切さを一緒に学びましょう」と呼び掛けています。

防災運動会の実施には、佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)や、西九州大学短期大学部などが協力します。

地震、台風、水害…
予期せぬ事態に備えを
佐賀青年会議所
「さが防災運動会2023」

家族でたのしく学ぼう! **さが**

防災運動会2023

日時 **11月19日**
10:00~15:30

《参加費》**無料**

場所 **西九州大学短期大学部**
佐賀キャンパス 佐賀市神野3丁目18-15

事前申込制 **定員40家族**
先着順 **お申し込みはこちらから!▶▶▶**

お問い合わせ・事務局
一般社団法人佐賀青年会議所
〒840-0805 佐賀県佐賀市神野西四丁目3番18号
TEL(0952)32-1565 FAX(0952)30-0964

〓 たのしく体験しながら、防災を学ぼう! 〓

- 土嚮づくり**
正しい作り方、効果的な積み方で、制限時間内に土嚮を作りましょう。作った土嚮は佐賀市へ寄付します。
- 水バック消火競争**
防災グッズの水バックを地面に書いた円の中に投げて得点を競います。
- 総合障害物リレー**
災害時を想定した3つの障害物をクリアし得点を競います。
- 防災ウルトラスーパー×クイズ**
災害対策と災害時に関するクイズで得点を競います。
- 防災ジェスチャーゲーム**
ジェスチャーで協力して欲しいものを伝えよう。
- チーム対抗ガチンコリレー**
最終競技!ガチンコリレーで順位を競います。

参加者全員に**防災グッズプレゼント!**
順位により賞品が異なります。

スタンプを集めて回る**災害体験ブース**

- ① 家屋修繕キットで修繕体験
- ② 重機体験
- ③ 災害食の説明
- ④ フードバンク
- ⑤ 災害ボランティア活動の説明

【協賛】
佐賀災害支援プラットフォーム
フードバンクさが
佐賀市社会福祉協議会
西九州大学短期大学部

タイムスケジュール

9:00	受付開始
10:00	開会式、ルール説明
10:20	午前の競技 ①土嚮づくり ②水バック消火競争 ③総合障害物リレー
11:50	昼食・昼休み ～災害食をみんなで食べよう～
13:25	午後の競技 ④防災ウルトラスーパー×クイズ ⑤防災ジェスチャーゲーム ⑥チーム対抗ガチンコリレー
14:55	表彰式、ビンゴ大会
15:30	閉会式

最後のお楽しみ!
ビンゴ大会で**豪華賞品**をゲットしよう!
ぜひご参加ください!



めばえ教室



めばえ教室
山下 美由紀 先生

楽しく遊びながら知能を伸ばす 知育・幼児教室 佐大附属小の入試対策も

1979年に東京で生まれた知育・幼児教室「めばえ教室」が佐賀で開講したのは、その6年後の1985年で、ことして39年目になります。

「子どもの時に『めばえ』に通っていた方が親になり、『自分が楽しかったから、子どもにも同じように経験させたい』と来てくださる方が結構いらっしゃいます。こう話すのは、めばえ教室佐賀教室のチーフインストラクターで指導歴27年の山下美由紀先生です。

教室は1歳児〜小学低学年が対象で、1歳児はあゆみ▽2歳児はプレめばえ▽3歳児はめばえ▽4歳児はふたば▽5歳児はわかば▽小学1年はおおば▽小学2年はきらめきと上がっていきます。独自の教材を使って楽しく遊びながら思考力や自主性、集中力、

創造性を育てるのが特徴で、「小さい頃からの積み重ねで自然と考える力が身に付きます」と山下先生。将来の学力の基礎を幅広くとることができます。

例えば1歳児クラスでは、実際に手で触ったり、目や耳からの刺激を受けながら形や色などを覚え、言葉の数も増えていきます。2歳児以上については入室の時、いまだぐらいい興味や経験があるかを図るIQテストを実施。1年間でどれだけ力が付いたのか、再度IQテストを行うので成長の素晴らしさを実感できます。

教室では、佐賀大学附属小学校の受験に向けた「小学校準備コース」も開設しており、2022年度は準備コースの生徒21人全員が附属小の一次試験に合格しました。本年度の入試に向けた「入試対策テスト」も1回実施しています。12月は12月3日の開催です。

成績が向上しないのは、 学び方を知らないから

特別講座 中学生「学び方教室」

池之上 義宏 先生



申し込みはこちら

中学生「学び方教室」

【対象・定員】 中学1〜3年生、20人程度
【講師】 池之上 義宏 氏
元佐賀県中学校長協会会長、H28文科省・学習指導要領検討委員（中学校特別活動）、西九州大学子ども学部非常勤講師（現職）、R4.4月〜上峰町公民館長
【開講日時】 11月12日（日）、19日（日）、26日（日）、午前10時〜11時半
【会場】 佐賀新聞文化センター（佐賀市白山）
【受講料】 1回1,500円×3、教材費1,000円の計5,500円
※初回に現金徴収させていただきます
【問い合わせ先】 佐賀新聞文化センター ☎0952-25-2151

「勉強の仕方が分からない」…こんな悩みをお持ちの方はいらっしゃいませんか。成績が向上しないのは「頭が悪いから」「能力が低いから」ではありません。主な原因はあなたの「学び方」にあります。効果的な「学び方」を習得することで、学ぶ力と成績を高めます。佐賀新聞文化センターでは、11月12、19、26日の全3回の日程で、中学生「学び方教室」を開きます。受講生を募集しています。

講師は、元小中学校教諭で上峰町公民館長の池之上義宏先生です。学び方教室を上峰町や県内の学校で実践されており、主体的な学び方の習得や独自のスタディ・ログを活用することで、早ければ数カ月でその効果を実感できます。

初回の12日は①学び方診断アンケート（希望者を個別サポート）②学習目標の意義と学習目標の見え方（マグネット型目標ブックマークづくり）③授業時の学び方について講義。19日は①家庭学習の学び方②家庭学習計画の見え方（個別サポート）で、最終回の26日は①学び方の自己評価②スタディ・ログの活用③学び方のセルフマネジメントについてお伝えします。

「学習目標を『見える化』することが大事で、それが学校にも家庭にも必要です。努力次第で脳は大きく活動します」と池之上さん。学び方のコツを習得し、見通しが持てるようになるれば、あとは継続すること。セルフマネジメントの手順も教えます。高校受験に向けて頑張っている3年生、勉強の基礎を身に付けたい1、2年生ともに歓迎します。

ここからは佐賀新聞文化センターの教育部門の教室の中から、半世紀の歴史を誇る「ステップワールド英語スクール」、幼児向け知育教育の「めばえ教室」、特別講座として11月に初めて実施する中学生「学び方教室」について紹介します。



ステップワールド英語スクール

堀部 陽子 先生



子どもたちを指導する堀部陽子先生。英語を形として習得させることを意識して授業を進めている

「ステップワールド英語スクールの一番の魅力は、英文型の学びがしっかりしているところ。対面の英会話教室の中には『何でもあり』といった感じで、子どもたちにルールが定着しづらいところもあるかもしれませんが、ステップワールドでは、3文、4文ほどのターゲットセンテンスを徹底的に学んでいきます。シンプルだからこそ身に付きやすい。基本の形を習得できれば、その応用は無限に広がっていきます。こう語るのは、講師歴18年の堀部陽子先生です。

ステップワールド英語スクール（旧称「旺文社」英語スクール）は1973年、教育専門の出版社として英語辞書や受験参考書を作り続け

てきた旺文社の創業者・故赤尾好夫氏が立ち上げ、当時の先駆的な教育方針を時代の変化に合わせて発展させてきました。半世紀にわたって改良し続けてきた教材と教育手法で、子どもたちの可能性を最大限に引き出す授業を実現しています。英検の学習参考書でご存知の方も多いためです。

幼児から英検を基軸にした教材で一貫性があり、大学入試に直結しているのも特徴です。

「小さいころから学び、やればやるだけ形を覚えることができます」と堀部先生。英検に照らせば、小学高学年までに5級、4級のレベルを習得し、子どもの言葉のストックに応じて3級、準2級へとチャレンジしていきます。平均的に、小学高学



ステップワールドの教材。英検を基軸としている

英語を形として徹底習得 応用は無限に

年の段階で4級レベルの理解度があれば、基本的に中学校の英語で困ることはありません。中学校卒業程度とされる3級まで身に付ければ、高校受験も安心です。「ぜひお伝えしたいのは、ステップで学んだ生徒は平均が高くなるということ。すくなく、平均的によくなる子がたくさんいる教室です」とも。子どもたちは英語を身に付けることで、英語を軸にした大学などの進路選択や将来の夢を広げていきます。

小さいときに始めるのに越したことはありませんが、もちろんそれがすべてというわけでもありません。当然、個人差やタイミングもあります。「私自身、小さいころから学びのスイッチが入っていたわけではなく、小学高学年からでも、中学になってからでも大丈夫です。講師歴の長い先生がたくさんいらっしゃるので、当校に安心して任せてください」と呼びかけます。教室では、英語力の定着に貢献するスピーチコンテストも毎年開催しています。

※体験、申し込みに関しては44〜48ページをご覧ください。